

## 共同シンポジウム

# 水辺の自然再生—よみがえる魚たち



主 催：NPO 法人シナイモツゴ郷の会、  
全国ブラックバス防除市民ネットワーク、伊豆沼・内沼ドジョウ・ナマズ研究会  
後 援：大崎市、大崎市教育委員会、みどりの農業協同組合、NPO 法人農村地域づくり支援隊  
公益財団法人大阪コミュニティ財団（東洋ゴムグループ環境保護基金）  
（COP-10 パートナーシップ事業）  
場 所：宮城誠真短期大学（宮城県大崎市古川福沼1丁目27-2）  
期 日：2010年10月23日（土） 9：30～17：30

## 次 第（案）

### 開 会

#### 挨拶と趣旨説明

二宮 景喜（NPO 法人シナイモツゴ郷の会理事長）

#### 第1部 自然再生活動と環境保全米（9:30～11:00）

##### 基調講演

ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」地域での取り組み 30分  
環境保全型農業と保全米生産の戦略と実践

西澤 誠弘（<sup>しんぼう</sup>伸萌ふゆみずたんぼ生産組合）

##### 取り組み事例紹介

（1）滋賀県高島市「たかしま生きもの田んぼ米」 15分  
有機農法の実践と田んぼの生きものを保全する取り組み  
梅村 元成（たかしま有機農法研究会）

（2）大崎市鹿島台「かしまだいシナイモツゴ郷の米（さとのまい）」 15分  
シナイモツゴの保護と環境保全米  
吉田 千代志（かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会）

##### 自由討論 30分

##### 特別企画

- ① 試食と生き物環境保全米の意見交換会：10月23日12:30～13:30 参加費無料  
かしまだいシナイモツゴ郷の米おにぎり、かしまだい品井沼ヒシご飯  
宮城野ポーク軟骨スープ、など  
【協力】大崎市食生活改善推進員連絡協議会鹿島台会
- ② 情報交換会：10月23日18:30～ 「海山」大崎市古川台町4-43 会費4,000円
- ③ オプショナルツアー「雁の飛び立ちと水田魚道見学会」：10月24日（日）早朝  
（特別企画②と③はいずれも参加申し込みが必要、参加費あり、開催要領参照）

## 第2部 水辺の自然再生活動でよみがえる魚たち (11:00~17:30)

基調講演 11:00~12:30

生物多様性の保全ー現状、なぜ、どのように  
種多様性をまもるために

淀 大我 (三重大学)

遺伝的多様性をまもるために

池田 実 (東北大学)

パネルディスカッション

座長 小林 光 (全国ブラックバス防除市民ネットワーク)

話題提供1 在来魚復元の取り組み 13:30~15:00

①田園・里山における取り組み

・住民がまもる里山のゼニタナゴ

根子 英郎 (矢沢地域自然保護を考える会)

・水族館の淡水魚保全の取り組み

倉石 信 (ふくしま海洋科学館)

②河川・都市近郊における取り組み

・釧路湿原のイトウをまもる

針生 勤 (釧路博物館)

・光が丘公園 (東京) の自然再生

林 真帆 (生態工房)

③新しい復元技術の開発

・ふ化稚魚飼育のためのプランクトン簡単培養

久保田 龍二 (NPO 法人シナイモツゴ郷の会)

・性フェロモンを利用した外来魚防除の新技術

藤本 泰文 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)

話題提供2 よみがえる魚たち 15:15~16:30

①市民・農民連携で増えたシナイモツゴ生息池

高橋 清孝 (NPO 法人シナイモツゴ郷の会)

②水田魚道で復元したドジョウ水田

三塚 牧夫 (伊豆沼・内沼ドジョウ・ナマズ研究会)

③下水道整備などで川の水質が向上、広がるカジカ生息場

遊佐 和洋、縄田 暁 (宮城内水試)

④伊豆沼にメダカがもどった!

進東 健太郎 (伊豆沼・内沼環境保全財団)

総合討論 16:30~17:30

閉会挨拶 門間 忠良 (NPO 法人シナイモツゴ郷の会)